

なぜいま地域通貨なのか

～エコマネーから電子地域通貨まで～



講師：専修大学経済学部教授

にしべ まこと
西部 忠 先生

とき 2018年 **11** 月 **16** 日 (金) 15:00~17:00

ところ 島の学舎 (南あわじ市神代地頭方 1538-1 SODA 事務所横)

定員 20名

申し込み方法 電話・ファックス・メールで・・・(定員になり次第、締め切ります。)

TEL0799-42-0399 FAX 0799-53-6278 Email: hello@awajisoda.jp

今再び「地域通貨」が各地で盛り上がっているのをご存知ですか？

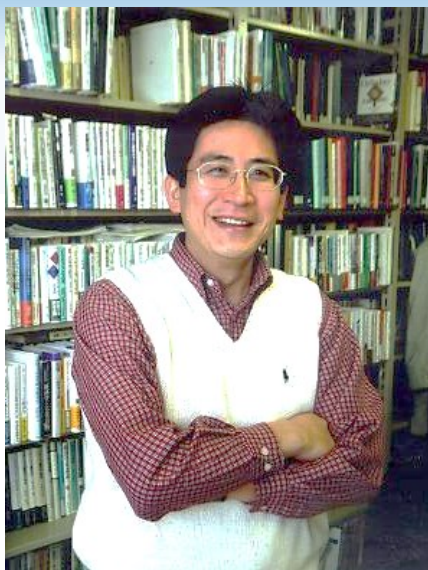
遡ること約 20 前に日本各地で地域通貨ブームが巻き起こりました。2002 年当時には 500 を超える地域通貨が存在したとも言われますが、様々な理由により、多くが消滅、もしくは当時のような活気は無い状態です。

しかし、スマートフォン等の技術革新により、飛騨高山の「さるぼぼコイン」など、新しい形の電子地域通貨が、「地域をつなぎ、盛り上げるエンジン」として今、注目を浴びています。

なぜいま地域通貨なのか？

今回は、地域通貨の創成期から研究に携わられており、地域通貨研究の第一人者でもある西部 忠先生にお話をお伺いします！ぜひご参加ください。お待ちしております。

第1回 島の支え合いと経済循環を考える



<講師紹介>

西部 忠（にしべまこと）専修大学経済学部教授

1962年愛知県生まれ。86年東京大学経済学部卒業。

1989年カナダ・ヨーク大学大学院経済学研究科修士課程修了。

1993年東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。博士(経済学)。

2007年北海道大学大学院教授などを経て、17年から現職。

専門は貨幣進化論。著書に『貨幣という謎』（NHK出版新書）など。

第2回 「島の支え合いと経済循環を考える」は・・・

「開発者に聞く、話題の電子地域通貨「飛騨高山 さるぼぼコイン」とは!？」

第2回は電子地域通貨「さるぼぼコイン」の開発者 株式会社フィノバレ代表の川田修平さんをお招きし、現場の意見を聞けるチャンスです!

と き : 2018年12月5日(水) 15:00~17:00

と ころ : 島の学舎 (南あわじ市神代地頭方 1538-1 SODA 事務所横)



主 催 NPO 法人ソーシャルデザインセンター淡路

連絡先 兵庫県南あわじ市神代地頭方 1538-1

(TEL : 0799-42-0399 FAX : 0799-53-6278)

Email: hello@awajisoda.jp HP: <http://awajisoda.jp/>



申し込み方法 ファックス・メールで・・・(定員になり次第、締め切ります。) FAX 0799-42-0399 email: hello@awajisoda.jp

「第1回 島の支え合いと経済循環を考える」 参 加 申 込 書

お名前

ご住所

(TEL

)